

a 学校教育目標	ふるさとを愛し、鍛えよ『知・徳・体』	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) ・自分を愛し、夢を語る児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) ・主体的な学びが育まれる学校 ・夢や志があり、誰もが通ってみたい学校 ・地域の活力の源として、信頼される学校
----------	--------------------	----------------------	--

評価計画				自己評価					改善方策		I 学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	1月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方策	評価			コメント	
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ		
確かな学力	主体的・対話的・深い学びの創造	個別最適な学びに向けた授業改善 選択肢と自己決定 自由進度学習 学習者用情報端末の活用による授業改善	・個別最適な学びの実践 ・学習者用情報端末活用による積極的な授業改善 ・学力分析に基づく学力向上の取組(学び直しの場の設定、小中連携による授業研究) ・共に学ぶ集団づくり	①自己選択・自己決定の場を工夫した授業を1学期に1回以上行う。 ②校内検定テストの正答率 ③QUの結果をもとに、学級指導を行い、要支援児童の割合を減らす。 ④担当教科で学習者用端末を使い授業改善を行う。	①100% ②校内検定テストにおいて目標値85%以上達成した児童の割合を80%以上にする。 ③前期実施の該当数を後期に減少させる。 ④各学期1回以上										
			家庭学習の充実による学力定着 家庭学習の見直し	・家庭学習の習慣化 ・学び方指導の充実	①児童一人一人の実態に応じた課題の工夫 ②学習チャレンジデーにおいて自己課題を明確にして自主学習を行わせる。	①100% ②100%									
豊かな心	自己肯定感が高い心豊かな子どもの育成	不登校の未然防止 基本的な生活習慣の確立 地域を教材とした学習活動の充実	・SSRの活用、相談体制の充実、小中連携の充実 ・児童会による自治活動の充実 ・生徒指導の三機能を生かした指導生活上の基本の指導を徹底(時間挨拶 掃除)	①不登校等児童生徒支援会議の計画的な実施 ②児童アンケートを全学年で実施する。「自分から進んで挨拶をした。」「よりよい学校、学級にしようとかんがっている。」	①週1回以上 ②肯定的な回答90%以上										
			・体験活動の充実(自然・文化・地域人材)	①地域の自然・文化・地域人材を生かした体験活動の実施	①各学年、年1回										
健やかな体	体力向上と健康教育の推進	新体力テストの分析による重点課題の克服 食育の推進	・新体力づくりテストの分析に基づく体育科授業の工夫改善(全国平均以上を目指す。) ・「金のルール」「食育」による生活指導(早寝、早起き、朝ご飯、食のバランス)	①新体力テスト課題種目の克服を図る。(50m走) ②児童アンケートを全学年で実施する。	①走力の向上(50m走の記録を全国平均結果より、記録を伸ばした児童の割合)75% ②肯定的な回答90%以上										
信頼される学校	開かれた学校づくりと教職員の資質向上	小中連携教育の成果が保護者・地域に伝わるための情報発信	・学校・学級・保健だよりの発行 ・連携教育だよりの発行 ・園小中連携 ・服務研修の充実(不祥事ゼロ) ・主任主事を中心とする組織的な学校運営	①各たよりの発行(月1回以上) ②園小中の連携回数(年4回以上) ③計画的な服務研修の実施(月1回以上) ④小中合同の学校経営会議を開催(月1回)	①100% ②100% ③100% ④100%										
働き方改革	教育の質の向上を図るための環境づくり 教育の質の向上を図るための環境づくり	「指針」に基づいた学校の取組を推進	・上限目安時間の管理(45時間/月) ・週1回の定時退校日の徹底 ・組織的・計画的な学校運営による効率化	①月の時間外在校等時間を45時間以内	①100%										

本年度の重点目標については◎印で示す。

【: 自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

【I: 学校関係者評価 評価】
イ: 自己評価は適正である。 ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: 分からない。